

黒石市の花・木・鳥



りんご

先人のさまざまな苦勞の歴史に支えられて、りんごの主産地を形成してきました。全国唯一のりんご専門の研究所があり、研究のメッカでもあります。秋になるとおいしい実をつけるその白く可憐な花は、広く市民に親しまれています。



もみじ

『かえで』の通称。中野山は、京都の嵐山に対して小嵐山と呼ばれるなど、藩政時代から有名なもみじの名勝で、樹齢約200年のもみじ3本が市天然記念物に指定されています。また、もみじの一種『イタヤカエデ』は、温湯こけしの材料としても使われ、なじみが深い木です。



セグロセキレイ

浅瀬石川で四季を通じてよく見られ、きれいな流れを好む留鳥で日本固有種。春夏の子育て期には、人家にも近づき、尾をいつも上下に振る仕草は愛敬があります。『セグロ』のクロが黒石にも通じ、水清く豊かな自然のシンボルとして親しまれています。

黒石市の姉妹都市



三陸復興国立公園「浄土ヶ浜」

岩手県 宮古市

宮古市は、本州最東端に位置し、黒潮と親潮の交差する三陸沖を漁場として、古くから沿岸漁業が栄えた岩手県を代表する港町で、人口は令和2年4月1日現在で51,150人。

東は太平洋に面し、他の三方を北上山系の山々と丘陵に囲まれ、山間を流れる閉伊川、津軽石川などが太平洋に注いでいます。さらに、自然が織りなす雄大な沿岸美と青く澄んだ海とのコントラストが美しい三陸復興国立公園「浄土ヶ浜」は、国の名勝に指定されています。

また、四季を通して新鮮な魚介類が豊富で、特にサケ類の漁獲量では、国内有数の水揚げ量を記録しています。



永川市「普賢山天文台」

大韓民国 慶尚北道 永川市

永川市は、韓国の南の玄関口である釜山市から約100km北、新羅時代の都・慶州市と、韓国第三の都市大邱市のほぼ中間に位置することから、交通の要衝となっている都市です。主要産物は米・りんご・ぶどう・桃・なし・たまねぎ・にんにくなどで、特にぶどうは慶尚北道有数の生産量を誇っています。

人口は令和2年4月時点で101,828人となっています。